◇ 光合成能力の増強、健全育成、生育促進、発根促進、
徒長防止、品質向上、増収、成り疲れ軽減などに

確かな効きめ!!
速効性ミネラル

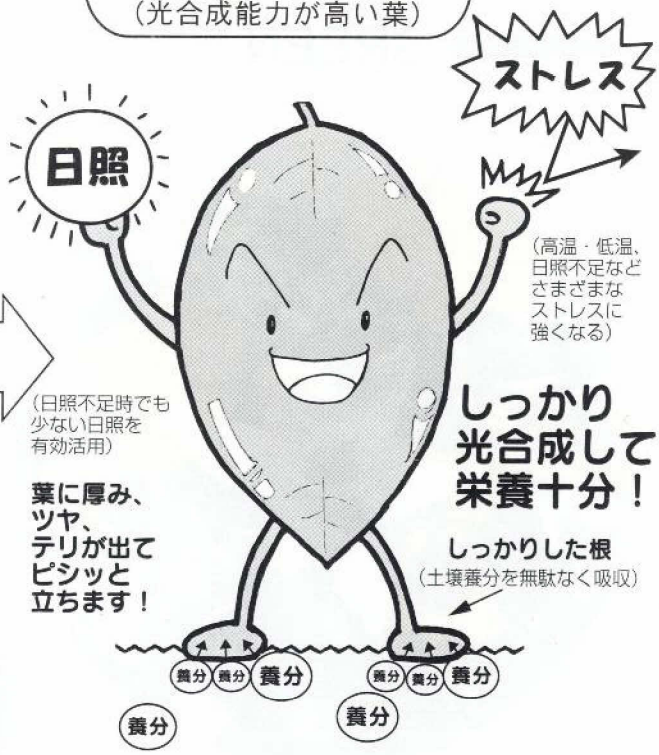
グリーンエキス

☆垂れた葉先がピシッと立ちます！

働きの悪い葉
（垂れた葉）

✿グリーンエキスを使用すると…

働き者の葉
（光合成能力が高い葉）



◆グリーンエキスの成分◆

苦土（Mg）	13%	葉緑素の主要成分。光合成を掌る。りん酸の吸収、移動を助ける。クエン酸（根酸）の分泌を促進。
マンガン（Mn）	8％	苦土のはたらきを助ける。マンガンがなければ、苦土は葉緑素になれない。ビタミンCの合成。呼吸作用に関係する。
ホウ素（B）	2％	開花、受精に働く。細胞分裂を助ける。カルシウムの吸収を助け、水分・炭水化物・チッソ代謝に関与する。

◆グリーンエキスの使い方と使用量（例）◆

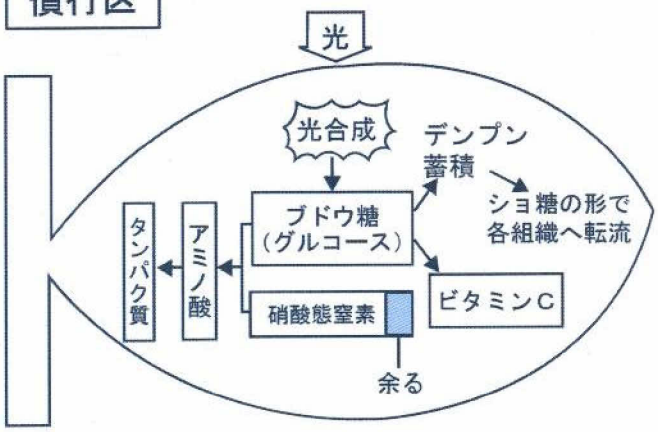
液肥として	1回につき2～5kg/10a 生育初期はうすめに、収穫期よりは1回につき5kgを月に2回が目安です。 （注意）液肥の原液との混用はしないでください。
葉面散布	果菜類：収穫前まで500～800倍。収穫期より300～500倍。 葉菜類：300～ 800倍。 2～3回。 根菜類：500～ 800倍。 2～3回。 花　卉：500～1000倍。 2～3回。 果　樹：300～ 500倍。 3～5回。 （注意）アルカリ性農薬、銅剤農薬との混用はしないでください。

◆グリーンエキスの溶かし方◆

容器に水を入れ、丁寧に撹拌しながら『グリーンエキス』を少量ずつ溶かし込み10倍程度の原液を作り、希釈して潅水などでご使用ください。

グリーエキスを使用することで硝酸やビタミンCはどうなるか？　（イメージ図）

慣行区

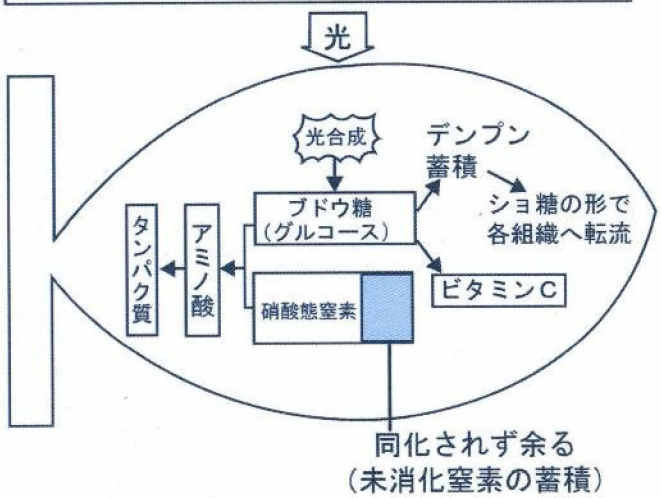


光合成でつくられたブドウ糖（グルコース）は、ビタミンCの原料となる他、いったんデンプンになったあとショ糖の形で各組織へ運ばれエネルギーとして使われたり、葉の葉緑体にデンプンのまま蓄積されたりする。

また、硝酸態窒素と一緒になってアミノ酸をつくりタンパク質となって植物の形を形成していく。

光合成産物であるブドウ糖は、いくらあっても足りないくらいあちこちから引っ張りだこの状態だ。

異常気象・日照不足時（曇天・長雨）

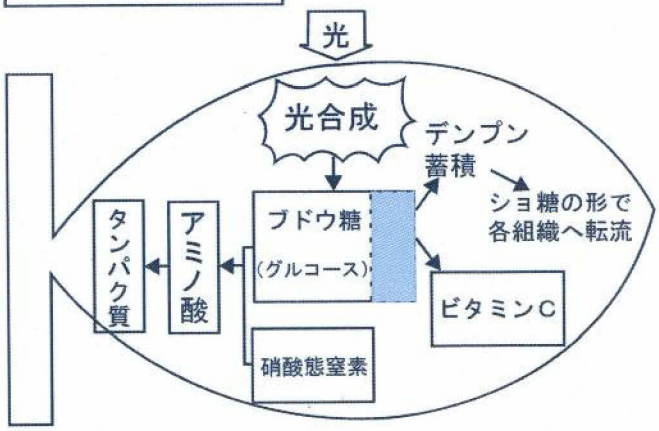


異常気象・日照不足時は、光合成能力が減少。しかし、作物の体内では水分の移動と並行して硝酸態窒素も吸収されている。

充分なブドウ糖が生成されていない状態でも体内にある硝酸態窒素をアミノ酸・タンパク質へと同化したいため、ブドウ糖を横取りして、使い切ってしまう。

光合成産物であるブドウ糖は、不足している。そのため、ビタミンCの生成も少なく、さらに各組織に運ばれるエネルギーも減少。

グリーンエキス使用区



グリーンエキスを使用すると光合成が促進されるので光合成産物ブドウ糖の量が多くなる。

ブドウ糖がたっぷりあると、硝酸同化がスムーズでアミノ酸・タンパク質をたくさんつくれる分、余る硝酸態窒素が少なくなる。

なおかつ、まだブドウ糖の量に余裕があるため、ビタミンCの生成にまわせることで、ビタミンC含有量が増える。